



クローズアップ CLOSE UP

夏を迎える祭り楽しむ

中心市街地で、7月6日から9日まで前橋七夕まつりを開催。今年も趣向を凝らした七夕飾り約650本が街を鮮やかに彩りました。訪れた人は、短冊に願いを書き込んだり、手の込んだ飾りに感心したり。連日の真夏の暑さも忘れ、祭りを楽しんでいました。

後世に伝える新陰流

7月9日、上泉町自治会館で新陰流祖祭を開催。午前には上泉伊勢守信綱ゆかりの神社・史跡などを巡り、午後は剣聖行列や碑前祭での獅子舞奉納、柳生新陰流宗家の演武などを行いました。来場者は獅子舞の迫力や、演武の張り詰めた様子にくぎ付けでした。



姉妹都市で再スタート

本市と米国バーミングハム市は来年度に友好都市提携20周年を迎えるにあたり、連携をさらに深めるため、姉妹都市締結をしました。山本市長が渡米し、ベル市長と共に協定書へサイン。今後は、学生・市民・ビジネスの3つで交流を深めていきます。

昨年開催された、本町二丁目の空き家や空き地を対象にしたコンペ。木暮さんらの「三角州プロジェクト」は応募多数の中で見事、佳作に選ばれた。「コンペへの応募を機に、対象地域の住人の声を聞くため、フリーペーパーを仲間たちと作り始めました」

その活動の中で、千代町五丁目の丸山ビルの管理者との出会いがあった。

「出会った当時、空き物件だった丸山ビルを地域の交流サロンとして改修中でした。しかし、私たちの活動を知って、若者のために活用して欲しいと、管理を任せられました」

現在は丸山ビルに住み、自分

たちの活動の拠点にしながら、「まちなかのレンタルリビング」と呼んで貸し出しを行う。会議や飲み会、チャレンジショップなど、さまざまな用途で活用される場になった。

「生まれ育った前橋には空き家や空き部屋が多い。その分、自由に使える余白がたくさん隠れているまちだと思えます。空いた空間を活用し、若者の定住や活躍の場につなげていきたいらいいなと考えています」

近い将来、市内に自分の設計事務所を開設して、住宅や店舗の設計を手掛けることを目標にしている。彼のような明日を担う若い世代が、前橋にぎわい始めている。



卵の優しい味と丁寧な手作業がプリン味の引き立てます

敷島町の Mon Conamon で製造されている「シキシマプリン」。有精卵と牛乳、生クリーム、砂糖、バニラビーンズなどの素材で作られています。有精卵は、市内の養鶏場で、放し飼いで育てられた健康な物をぜひたくに使用。

「天然素材にこだわった無添

加の手作りプリン。卵をたくさん使っているの、しっとりとした食感が特徴です。牛乳は前橋産で、砂糖も3種類をブレンドして小さなお子様にもこだわっています」とオーナーの天川さん。

素材が持つ良さを損なわないよう、焼き上げ以外は全て手作業で行っています。

「シキシマプリン」は自社ホームページや通信販売で購入できます。また、この商品は本市のふるさと納税返礼品にも。こだわり素材の手作りプリンをぜひ味わってみてください。

赤城の恵ブランド シキシマプリン vol.47

監 Mon Conamon
ホームページ <http://www.moncona.jp>



まちの隠れた余白を有効活用する

建築士
木暮 勇斗さん・25歳
千代田町五丁目



いきいき
まえばし人